ねえ、見て見て！

めぐみ第二保育園の造形活動

2021. 12

表現を楽しむ造形活動は、子どもたちにとって・・

造形あそびは、いろいろな素材を工夫したり、考える力や集中力、根気強さなど総合的な力を育みます。
造形あそびがより充実したものとなるように、素材室を整備したり、作った作品を、「ワンデーミュージアム」一日だけの作品展として、おうちの方々に見ていただく場を設けています。

各クラスの今年度、造形活動の取り組みを冊子にしてみました。

０歳児　にじ組　「色々な“はじめて”をたのしもう！」
１歳児　うみ組　「いろんな素材に触れてみよう！」
２歳児　そら組　「つくってあそぼう！」
３歳児　ほし組　「自然物・素材・道具を使い表現しよう」
４歳児　つき組　「五感をフルに活かして作ってみよう」
５歳児　たいよう組　「触れて　調べて　考えよう！」
充実・事務担当　「子ども主体の自由な造形活動の取り組み」

園長　内藤孝子

～素材室～

子どもたちが自由に選べる「素材室」
材料ではなく素材なのです

ワンデーミュージアムのオープン！！

子どもたちの生みだす

Only　one　のアートをお楽しみください

０歳児　にじ組

テーマ

「色々な“はじめて”を

楽しもう！！」

にじ組　造形遊び

＜造形遊びのねらい＞

☆いろんな素材のものでいっぱい遊んでみる。

☆つまむ・握る・つぶす等の指先を使った遊びを楽しむ。

＜大切にしたいこと及び配慮点＞

・保育士との安定した関係の中で、様々なものに興味を広げ関心が持てるようにし、子どもたちの発見を大切にする。
・素材(絵の具や粘土など)を使った感触遊びを保育士と一緒に楽しみながら、気持ち良さや嫌な感覚など様々な感触を知る。
・色々な“はじめて”を体験していく子どもたちの気持ちに寄り添い、安心して楽しめるようにする。
・個々の発達に応じた道具や材料を用意するなど環境を整え、子どもたちが楽しみながら行ったものをそのまま作品にする。

＜子どもの姿、今取り組んでいること＞

感触あそび

◎砂、泥、水

・砂遊びでは、砂を手のひらで握って感触を味わったり、シャベル等の道具を使ってじっくり楽しんでいました。夏は水や泥んこ遊びをし、ドロッとした感触に驚いたり、手ですくってじっと眺めて観察したりなど冷たさを感じながら気持ちよさそうに遊ぶ姿が見られました。

ドロッとして
冷たい！

◎絵の具

・初めての感触に始めは泣いてしまうこともありましたが、回を重ねていくことで紙にぺたぺたと手でつけてみたり、指先でなぞってみたりなど感触だけではなく描こうとする姿も見られました。

初めての感触…
何だろう？

◎粘土遊び

・小麦粉粘土や柔らかい紙粘土で遊んでみました。保育士の「ぎゅっぎゅっ！」という言葉かけに合わせて両手で握ってみたり、つついたり、細かくちぎってみたり・・・指先を色々に使って楽しんでいました。

柔らかくて
気持ちいい！

自然あそび

公園では、のんびり散策などを楽しんでいます。草花や小枝、石、木の実等を見つけると拾って大事に握っていたり、ドングリや落ち葉などで遊びんでみたり、自然にたくさん触れて楽しんでいます。

葉っぱを握ったり
ちぎったり.・・・楽しい！

ころころ～♪
おもしろい!!

お部屋では拾ってきたドングリで遊びや製作を楽しみました。滑り台から転がしてみたり、カップにたくさん集めてみたり・・・ペットボトルに入れて自分だけのマラカスを作り、音楽に合わせて鳴らし楽しみました。

いっぱい
入るかなあ～♪

室内あそび

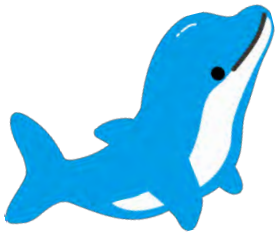
子どもたちが好きなポットン落としは、指先を使って掴み穴に落とす遊びです。初めは一人で穴に入れることが難しい様子もありましたが保育士と一緒に何度も繰り返し、今では一人でできるようになり楽しんでいます。最近では、コインやカード落としなどにも挑戦して遊んでいます。

どの型の穴に
入れようかな～？

重ねたり回したりできるよ!

指先を使って遊ぶおもちゃとして、鍵遊び、ルーピングや駒、くるくるチャイムなどがあり、つまむ、握る、まわす、落とすなど…楽しみながら指先や手首の動きを促しています。

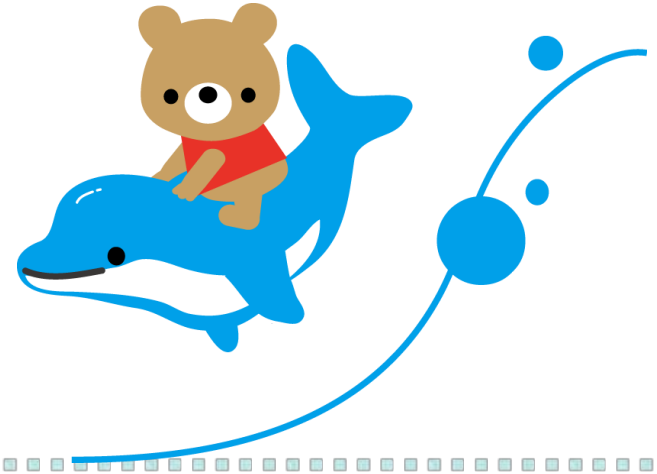
いろんな種類の
鍵開けに挑戦中…



１歳児　うみ組

テーマ

『いろんな素材に触れてみよう！』



取り組んでいること

《うみぐみはらっぱ》

花や虫などの自然が大好きで、いつも見つけたものをじっと観察しています。子どもたちが興味を示したもの・好きなものを活動に取り入れ、自分の思うままに作り、飾って見て楽しめるものにしたいと、『うみぐみはらっぱ』を作りました。子どもたちも飾られた作品を嬉しそうに見ては、「これ作ったんだよ！」とお友だちとのやりとりも広げています。

春（桜・てんとう虫）

→

秋（紅葉・フクロウ）

《感触・感覚遊び》

・泥遊び

砂場の新しいおもちゃが増え、砂場で遊ぶことがより楽しくなっている様子の子どもたち。どろんこ遊びでも、臆することなく全身で泥の感触を楽しんでいます。

・絵の具

絵の具を使った製作です。最初は絵の具を不思議そうに見ていた子どもたちですが、すぐに感触にも慣れ、今では「早く絵の具したい！！」「まだやりたい！」と絵の具での遊びを楽しんでいます。絵の具に直接触ることに戸惑っている子も楽しめるようタンポ等を使い、自由にいろんな色をつけています。

また、絵の具での遊びをじっくりと楽しんでいたので、氷絵の具を取り入れてみました。“つめたい”という感覚もじっくりと楽しんでいます。

僕はスポンジを
使ってみました！

タンポで
ポンポン

初めて糊を使ってみました。
べたべたの感触に
びっくりする姿も・・・。

うみ組 表現・造形活動

うみ組のねらい

✩様々な感触や自然物と触れ合い、遊んでみる。
（砂、泥、絵の具、綿、氷、小麦粉、葉、枝、花など）

✩興味や遊びの中で、自由に表現することを楽しむ。

大切にしたいこと及び配慮点

・感触遊びなどを楽しむことができるようなおもちゃ等が、いつでも手に取れる環境を設定する。
・自分の散歩バッグを身に付けて、戸外活動への期待感を膨らませていく。戸外で見つけた自然物を集めたり触れてみたりすることで季節を感じ、自然物の不思議を楽しむきっかけへと繋げていく。
・子どもの興味や発達に合わせた表現・造形活動が楽しめるようにする。
・作り上げることだけを目的にせず、作っている過程や出来上がった喜び、作品を自分の目で見て楽しむことを大切にしていく。

現在の子どもの姿

夕方恒例の自然探しの散歩♪

子どもたちと一緒に散歩先を決め、夕方の時間にも季節の自然を探しに出てみよう！「これなあに？」と興味を示し、観察したり触れたりする姿が見られています。

裸足で、のびのびと✩

裸足で遊び、足の裏で砂の感触をじっくり感じている姿があります。
園庭では、子どもたちから「今日は裸足？靴いらない？」と伝えてくれることも♪
はだし大好き！！

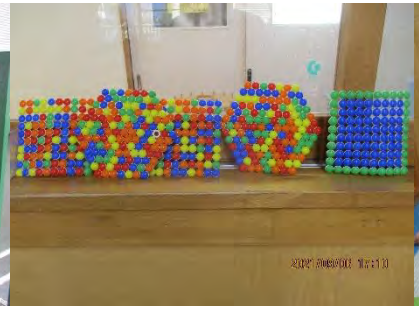
集めた自然物を使って表現・造形遊びへ

子どもたちが集めた葉っぱや木の枝、どんぐりや松ぼっくりなどを製作に取り入れています。自分たちで拾ったものを使うことを楽しんでいます。

2歳児　そら組

テーマ

「つくってあそぼう！」



ねらい

☆友だちと一緒に探索をし、見つけたもので作ることを楽しむ
☆造形遊びで、作ったものであそぶ面白さを知る

大切にしたいこと

〇大人も一緒に楽しみながら、日々の遊びの中に造形遊びを取り入れていく。
〇子ども達の興味・関心を大切にする。
〇「何をするかな」と子ども達が期待を持って、造形遊びを楽しめるようにする
〇作品の出来ばえではなく、“その子らしく作り上げるプロセス”を大切にする

生活の中に息づく造形遊び

造形遊びは特別な物ではなく、毎日の遊びの１つとして取り入れています。子ども達の好きな物や興味を持ったことを題材にし「じゃあやってみよう！」と造形遊びに繋げています。手先の発達に合わせてのりやハサミ等の道具も取り入れ、丁寧に使い方を伝えることで「できた！」〝自分でできた！〟という喜びや満足感を感じられるようにしています。

つくってあそぼう！

子ども達に造形遊び「作ること」を好きになってもらいたい、そんな願いを込めて、そら組では「つくってあそぼう！」をテーマに造形活動に取り組んでいます。自分の作ったもので楽しむ事で、より自分の作品に愛着を感じるようです。

「造形遊びをするよ」と声をかけると「今度はなに作るの？」と楽しみにする姿も見られるようになりました。また、作ったものを家に持ち帰ることで、家庭でも保育園の遊びの続きが楽しめるようにしています。

プラネタリウム

ジュース屋さん

花紙あそび

自分の人形

紙コップおばけ

3歳児　ほし組

テーマ

『自然物・素材・道具を使い表現しよう』

〈ねらい〉

☆自然物での製作を楽しむ。

☆自分でイメージしたものを作品にする楽しさを感じる。

☆みんなで一緒に作ることを喜ぶ。

〈大切にしたいこと及び配慮点〉

・花、夏野菜、虫などの自然物の観察を通して、豊かな感性を育む。

・散歩先で見つけた自然物（葉、枝、石など）を取り入れながら表現することを楽しめるようにしていく。

・“これをつくりたい”“こんな形にしたい”とイメージして、のびやかに表現する。

・クラスの製作棚を充実させたり、素材室の活用をしていく。

・みんなで一緒に、同じ目的に向かって作りあげる楽しさや喜びを感じられるようにしていく。

・作ったもので遊び親しみを持ったり、大事にしたり、作品を飾り、いろいろな人に見てもらう中で喜びとする。

＊自然物に触れて・・・＊

◎ダンゴ虫製作

散歩や園庭に出ると必ずダンゴ虫探しを楽しみ興味を持っていました。大きさを比べたり、背中に黄色の模様があるのが「メス」と知っている子もおり、友だちに教える姿も。製作の中でも「私はメスを作りたい」と模様を描いていました。

ダンゴ虫競争！！

◎自然物の模様傘

梅雨期、お散歩中に雨が降って来ました。子どもたちが、公園で大きな葉を見つけ「葉っぱの傘」と見立てて遊んでいました。自然物を拾いお土産に持ち帰る子も多く、子どもの発想を活かしたい思い、製作に取り入れてみました。

自然物を画用紙に、どう置くか？というのも考え取り組んでいました。

◎夏野菜（きゅうり画）

今年、ほし組では夏野菜（ピーマン、きゅうり）を育てました。毎日の水やりで「赤ちゃんきゅうりができてる」「きゅうりに花が咲いてる」と成長や収穫することに、楽しみや期待を持っていました。観察する中できゅうりの葉にも目を向け、「きゅうりの葉っぱって、きゅうりの色に似ているね」という子どものつぶやきから、葉をきゅうり画に貼ってみました。

野菜の形や色、香り、手触りなどにも興味や関心を広げてみました。

◎カブト虫、セミ製作

夏にはカブト虫やセミを手に取り楽しみました。体の色や手や足の数、目はどこにあるかな、など観察をしました。クラスにある図鑑でも、カブト虫やセミを見つけ「観察したカブト虫と一緒だ」と、夏の虫に興味を持つことができました。

セミ発見！

＊今後の取り組みとして・・・

自然物を見たり、触れたりし、その中で子どもたちが興味を持っていることを製作し表現をして楽しんでいます。その中で、四季の移り変わりも感じていけたらと思っています。今後も、秋や冬の自然物を集め、製作に取り入れていきたいです。

＊様々な素材や道具を使って・・・

◎ハサミ、のりなど

製作活動をする中で、クラスでは月１回はハサミの製作を取り入れています。経験を積むことで、持ち方や連続切りも少しずつスムーズになってきています。また、後期は、丸の形に切ることにも挑戦しました。

ハサミ製作は、少人数で行ない丁寧に伝えています。

◎素材室

素材室に行き、製作で使いたい素材を選び、ペットボトルを使って作品を作りました。「この色が良い」「このビーズ使いたい」など、自分で考え選ぶ様子が見られました。

自分で選ぶということも大切にしていきたいです。

＊自分でイメージして・・・＊

◎玩具を使って

　レゴやマグフォーマーを使って、自分でイメージしたものを形にして遊ぶことを楽しんでいます。

もしもし！
うん！わかった！

ハンドルできた！

◎自由製作

　自分のクレヨン、自由画帳、粘土があることに、とても喜び自由遊びの時は、のびやかに表現し楽しんでいます。

＊今後の取り組みとして・・・

　子どもたちの製作の幅が広がるように、クラスの製作棚を充実させたり素材室の活用を今後もしていきたいと思います。
道具の使い方は丁寧に伝え、ハサミやのりも自由に使えるように、経験を積んでいきたいと考えます。

＊みんなで一緒に・・・＊

◎あじさい製作

　梅雨の時期、保育園の周りには沢山の紫陽花が咲いたので、みんなで見に行きました。色や大きさに興味を持ち、「さっきの紫陽花より、こっちの紫の方が色が濃いね」「ここの紫陽花大きい」と観察を楽しんでいました。みんなでイメージを共有することで、グループの友だちと「紫の紫陽花にしよう」「私たちは水色にしよう」と、相談する姿も見られました。

何色の紫陽花にしようか？と、友だちと相談してから製作開始です。

◎ピーマンスタンプ

　みんなで育てたピーマン！給食で食べたり、お家に持ち帰り食べたり、ピーマンのお腹も見ました。秋頃までピーマンが育ち、とても豊作でした。ピーマンに親しんだ子どもたち、ほしぐみピーマンを作りました。

ここに葉っぱ貼ろうよ！と、友だちと相談。

＊今後の取り組みとして・・・

　みんなで一緒にイメージを共有してから製作活動をすることを大切に、その中で、子どもたち同士で相談し合う姿も大事にしていきたいです。
今後、グループやクラスみんなでの共同製作も取り入れ、友だち関係も深めたいと思います。

4歳児　つき組

テーマ

『五感をフルに活かして作ってみよう』

ねらい

☆自然物に触れる、見る、嗅ぐ、など経験したことを表現する。

☆「思ったこと、考えたこと、調べたこと」を表現し、楽しむ。

☆素材（廃材・絵の具・粘土・松ぼっくりなど）や道具を使いみんなで作る楽しさを味わう。

大切にしたいこと・配慮点

・一人ひとりが見たこと、経験したこと、イメージをありのままに受け止め、楽しんで表現できるようにする。
・子どもたちがイメージしやすいものを題材とした製作を取り入れ、どのようなものがあるのか友だちと一緒に考えながら製作することを楽しめるようにする。
・色の変化、混ざり合う不思議に気付き、より興味を高める。
・テーマを持って一人ひとりが想像したものを自由に表現できるよう、素材等を子どもたちと相談してみたり、素材室で使うものを自分で選べるようにする。
・共同製作などのみんなで作るものは、意見を出し合いながら、一緒に作り上げる喜びにする。

自然と製作（タンポポ・ピーマン）

散歩先で見つけたタンポポをお部屋に飾り、綿毛に変化する様子に興味を示していました。「種は何個かな？」「どこから出てくるんだろうね」という子どもたちの疑問からタンポポを作ってみました。
タンポポのたくさんある花弁をトイレットペーパーの芯に切り込みを入れて表現してみました。

ハサミを
使って・・・

種の観察もしてみると初めて見た子どもたちは真剣に観察して再現していました。種や花弁の数は頑張って数えていましたが多すぎて数えきれず…

夏野菜の栽培で植えたピーマン。「大きくなったので絵描いてみる？」という子どもたちの話しから、観察画を描くことに挑戦！！自分たちで育てたピーマンをじっくりと観察し描写していました。

描く姿も真剣です！

思ったこと、考えたこと、を表現する

浅間山への自然体験や、府中の森公園へのお散歩など、見たものや印象に残ったものを絵に残してきました。また、お散歩に必要なものを子どもたちが絵に描いて園長先生に相談する姿も・・・。積極的な子どもたちです。

調べたことを表現し、楽しむ

夏になり、「アイス食べたいねぇ～」という話も聞かれ、アイスクリームの製作。アイスキャンディー型、ソフトクリーム、丸型など様々なアイスが出来ました。真剣です！

いちごの
ソフトクリーム

素材（廃材・絵の具・粘土・松ぼっくりなど）や道具を使いみんなで作る楽しさを味わう。

一年間を通して、様々な道具や材料に触れて自分のイメージを自由に表現することを大切にしています。

クラスでは空き箱や紙の切れ端を製作棚に置くことで、子どもたちがすぐに使えるようにしています。また、廃材だけではなく素材を活用し、必要な材料を自分で考え、製作しています。

廃材での作品もステキに変身！家庭でも、トイレットペーパーの芯、段ボールなどを使って遊べるものが増えてきました。制作意欲が高まっています。

ペットボトルを使って・・・
キャップカーテン、シャワー

←細かく切り刻んだ
画用紙を使っての
サンダル作り

↓松ぼっくりを使っ
てのツリーづくり

水遊びがより
面白くなりました！

みんなで作る動物園

運動会練習から走ることが話題になり、自分が動物になって走るとしたら・・・など盛り上がっていました。まず、自分が何の動物に似ているか？を考えて絵を描き、粘土で動物を作りました。子どもたち同士で「何作ってるの？」と会話も弾んでいました。相談の結果、「動物園」を作ることになりました。

「動物園には何があるかな？」の保育士の問いかけに、「餌がないとだめだね」「柵とかお家とかもあるよね」などの意見が出され、グループで手分けをして作りました。

空き箱を使ってお家づくり。
粘土を使って動物づくり。
新聞紙や画用紙の切れ端を使って餌づくり…
一人ひとりがイメージを形にするために真剣な表情です。

製作を通して…

今後も、子どもたちの興味関心をしっかりと受け止め、自由にのびのびと、イメージを共有しながら自分で作ったり友達と一緒に作る楽しさを感じられるような活動を取り入れていきたいと思います。

製作の中での「不思議だな。なんでかな？」の気づき。どうやって作ってみる？の材料選びをこれからもっと楽しみたいと思います。

土門先生の製作で木材にも触れました。

郷土の森の遠足
何があったかなぁ…
楽しかったこと印象に残った物の絵を描きました。

５歳児 たいよう組

テーマ

『触れて　調べて　考えよう！』

＊　ねらい　・　大切にしたいこと　＊

自然との出会い・・・

☆自然との出会いの中で五感を使ってとことん遊び、自然の面白さを感じながら探求心を育む。

・散歩などを通して四季の自然との出会いを大切にし、触れる、見る、聞く、匂いを嗅ぐ、肌で感じる等、五感を使って自然の面白さを感じていけるようにする。

・自然ならではの遊びを体感できるように誘いかけたり、それぞれの自然の違いや“なぜ？”の疑問に図鑑などで調べる経験を大切にしてする。

考えて、試してみて、試行錯誤してみる！

☆製作活動を通して、“やってみたい”から工夫する。考える力を養う。

・子どもたちがイメージを大切にしながら自由製作を楽しめるよう、アイディアのヒントとなる本や様々な素材を制作棚に用意しておく。

・作るときに「なぜそうしようと思ったのか？」という子どもの気持ちを大切にし、実際にやってみて上手くいかなかった場合、「どうすればもっと良くなるか？」という振り返りと再度試す場面を設ける。

“不思議！”と“面白い！”は学びのチャンス！

☆様々な活動を通して“ものの不思議”に触れ、性質や科学を身近に感じる。

・遊びの中に“科学的要素”を取り入れ、性質や原理の面白さや不思議を感じる機会を大切にしていく。

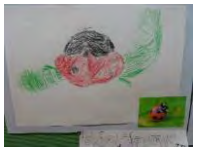
・「なぜそうなるのか？」を保育士と一緒に考えたり、「こうやってみたらどうなるかな？」という想像力や実際に試していくことの面白さを感じる。

『自然との出会いの中で五感を使ってとことん遊び、自然の面白さを感じながら探求心を育む。

自然を使って遊ぶ

オオバコの茎を互いに引っ張り合いながら行う『オオバコの引っ張り相撲』や両面テープをつけたダンボールに見つけた草花を貼って楽しむ『お散歩アート』、タンポポを使った実験など…自然を使った遊びを通し、植物の“面白さ”に気付いています。また、子どもたちの見つけた自然物を使い製作なども楽しんできました。

見つけた虫をじっくり観察して描いてみる！



公園などで見つけた「ダンゴムシ」「カタツムリ」「テントウムシ」の観察を楽しんでいたので、写真をみながら観察画を描いてみることに・・・

実物を見た時には気づかなかった微妙な色や形、毛が生えている様子をじっくり観察して色鉛筆で細かく描いていました。夏にも再び見つけた虫の絵を描き、さらに興味を深めていました。

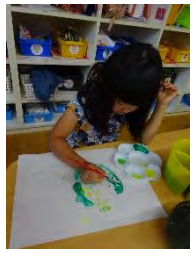
興味のある物を図鑑などで調べる

興味を持った植物や虫などの名前や特徴を図鑑で調べる場を大切にしています。また、身近な生き物を図鑑で調べ、紙粘土で製作を行うと、絵の具での色作りにもこだわっていました。

『世界の国調べ』では、興味のある国をおうちの人と一緒に調べてきていただきました。調べたことを発表し合い、国についての知識を友だち同士共有する姿があり、それぞれの国の写真やイラストを貼って完成しました！

野菜と食のつながりを感じて・・・

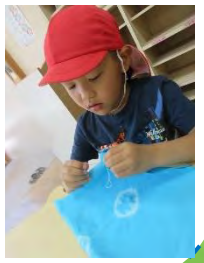
収穫した「夏野菜」や頂いた「かぼちゃ」芋ほりでの「さつまいも」等の重さを量ったり、観察画を描いてみました。普段食べている給食の食材そのもの（形・色・かおり）にも気付き、食べることにより喜びを感じていました。カレーライス作りでは、自分たちでどんな食材を使うかを考えてオリジナルの“たいようカレー”を作って味わいました。食べるだけではなく、描くことを通して食べ物への興味を広げていました。



『考えて、試してみて、試行錯誤してみる！』

初めてでも上手に針仕事

たいよう組になって新しく“針仕事”に取り組んでいます。４月には自分たちで染めた布でこいのぼりを縫いました。フェルトを使ったパッチワークを少人数で取り組み、遊びだけではなく、他にもじっくり取り組めることがあることを知ってもらえたらと思ってます。



ドミノとカプラはホールを活用して・・・

日々楽しんでいるドミノとカプラにも考え力のチャンスがあります。高く積むためにはどうすればいいか、最後まで倒れるためにはドミノをどう置けばいいかを考えました。友だちと協力しあい、一人ではできない大きな作品を作り上げています。

『“不思議！”と“面白い！”は学びのチャンス！』

“色の三原色”を遊びながら学ぶ

色水遊びに『赤・青・黄色』の３色を用意してみました。子どもたちには課題を一つ「紫、オレンジ、緑を作ってみては？」と、どの色を混ぜればと何度も試していました。色作りの経験が学びとなり、なんと５８色も作ることができました！また、この経験が絵の具を使った制作にも生かされ、色を作りながら描く姿が見られました。

素材の変化が面白い！

スライムやプラバン作りを通して、物の性質や特徴を知り、さらに違う物質が加わる「変化する」という不思議を知りました。ただ見るだけではなく「なぜ変化したのか？」を考え、友だち同士で意見を交わし合っていました。「なぜ？」「どうして？」と考え、いろんなことを試してみることも大切にしたいことの一つです。

一人で作った作品、みんなで作った作品・・・

子どもたちの個性がたくさん詰まった作品たちをゆっくりご覧ください。

充実・事務担当

テーマ

「子ども主体の自由な

造形活動の取り組み」

テーマ

“子ども主体の自由な造形活動”を楽しむ取り組み

“子どもたちが作りたいものを”

- 子どもたちの自由な発想力・自由に作れる場を大切にする
- 形にこだわらず子どもたちが作りたいものを作りたいように作る
- “何を作るか”、“どのような発想をしながら作っているか”を見守りながら、子どもたちの考えに寄り添っていく

“色々な素材を使ってみる”

- “作ることが楽しい”と思えるようにたくさんの素材や材料を用意する
- 満足に材料が使用できるように量を多く準備する
- 特別感を感じ、より楽しく製作できるようにする
- 色々な素材に触れることで、素材の使い方を工夫したりの、経験を学びに繋げていく

“満足するまでじっくりと”

- 少人数ずつで、時間を決めずに満足するまで作れるようにする
- 最後まで子どもたちの作りたい気持ちに寄り添う

“自分で作ってみる”

- “自分で作りきったことの嬉しさや達成感”を感じられるようにする
- 「できない」という気持ちから、「自分でやってみる」という気持ちになれるように、一人ひとりに合わせた援助をしていく

ランチルームを通して見て感じる造形活動

箸袋を通じて・・・

手作りのぬくもりを感じる

季節感を味わう

＊子どもたちの顔を思い浮かべ『喜んでくれるかな？』『どんな表情をするかな？』など想像しひとつひとつ丁寧に作り、こどものたちを大切に思う気持ち(心)を言葉と共に伝える。
＊箸袋などを持ち帰ることにより、お父さんやお母さん、家族との会話のきっかけとする。
＊どうやって作るのかな？と疑問を持ち、想像力を膨らませる。
＊５月こいのぼり（春）、６月あじさい（梅雨）、７月金魚（夏涼）、８月パイナップル（夏)、９月コスモス（秋）、１０月ハロウィン（秋）と季節の移り変わりを形にする。

子どもたちが・・・

＊はしを入れる袋という身近なものに飾りつけることにより、特別感を感じる。
＊紙でできていて壊れやすいため、丁寧に扱い大切にしようとする心が芽生える。
＊箸袋を通して、『わたしは○○色だったよ！』『きれいだね』などと会話が弾む。

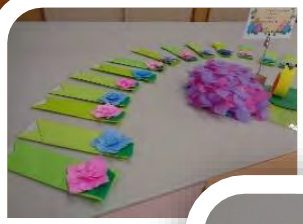
大切にしたいこと

今後について

＊毎月行うことにより、次はなんだろう？と期待感をもち、わくわくする探究心を一緒に味わい、『今日は楽しかった』と見て感じとってもらいたい。
＊箸袋の作り方を知らせ、保護者や地域の方々とコミュニケーションを図るきっかけとしたい。

5月

春の風を感じる
こいのぼり

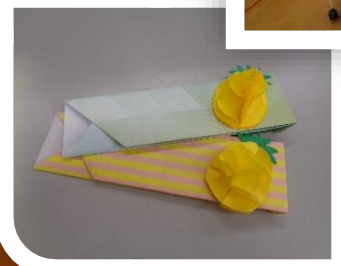


6月

小さな花が寄せ集まって
梅雨空に咲くあじさい

7月

暑い中でも涼を
感じる金魚たち



8月

元気が出る
トロピカル

9月
食欲の秋
コスモスで彩を

10月
おばけで楽しむ
ハロウィン

HAPPY
HALOWEEN